

講演申込書の書き方

(社)日本塑性加工学会 北陸支部

1. 申込用紙(コピー可)は講演1題目について1枚を使用して下さい。
2. 講演者の単名発表は正会員に限ります。(なお、連名の場合にはその中の1人以上が賛助会員、正会員あるいは学生会員であること。)
3. 要旨はプログラム編成の際、その題目に適した会場、順序を決めるために用いますので、研究の目的方法などを簡潔に記入して下さい。(特に、希望がない場合は記入しなくても結構です。)
4. 講演分類は下記の表1及び表2より一項目を選んで下さい。(例えばA-22, B-2のように記入して下さい。)
5. 上記のような組合せで表示できない場合は、複数個の記号及び数字、または片方の表の記号・数字だけを用いても結構です。

講演分類記号(日本塑性加工学会 規定)

表1 加工法別分類

圧延	A	板	J	せん断
	B	線, 形材, 管等	K	曲げ(形, 条材)
圧縮加工	C	鍛造	L	矯正
	D	押出し加工, 高压加工	M	高エネルギー速度
板材成形	E	深絞り, 張出し, 曲げ	N	接合
F	引抜き		O	複合加工
G	ロール成形		P	射出成形
H	チューブフォーミング		Q	半溶融, 半凝固, 溶湯
I	転造, スピニング		R	その他

表2 要素技術別分類

材料試験	1	材料試験	加工特性	14	変形特性・負荷特性
塑性理論	2	塑性理論		15	加工限界
解析技術	3	基礎理論, 解析モデル		16	加工精度
	4	数値シミュレーション		17	材質改善
	5	実験シミュレーション		18	その他
材料	6	在来実用金属	工具, 金型	19	工具, 金型設計
	7	新材料		20	CAD/CAM
	8	複合材料		21	工具材料, 表面処理
	9	超塑性		22	トライボロジー
	10	プラスチック		23	その他
	11	粉末	加工, 生産システム	24	計測・制御
	12	セラミック		25	加工機械, システム
	13	その他		26	生産システム(FMS)
				27	知能化技術(AI, エキスパート)
				28	その他